

森林病虫害等防除事業

松くい虫発生予察事業（執行委任：環境森林部森林保全室）

福本浩士

2010年4月9日に志摩市大王町波切、同月16日に三重郡菰野町菰野の山林から、マツノマダラカミキリの寄生木を採取し、林業研究所構内の網室に搬入した。採取林分の概況は表-1のとおりである。マツノマダラカミキリ幼虫の生育状況を把握するため、割材調査を成虫が脱出するまで、成虫の脱出消長調査を7月中旬まで実施した。その結果は表-2のとおりである。

また、カシノナガキクイムシによる森林被害について、環境森林部森林保全室、各農林（水産）商工環境事務所と協力して被害分布調査を実施した。

表-1. 採取林分の概況

場 所	標高 (m)	方位	樹種	林齢 (年生)	成立本数 (本/ha)
三重郡菰野町菰野	200	—	アカマツ	17	4000
志摩市大王町波切	20	—	アカマツ	30	1250

表-2. マツノマダラカミキリの発育状況と脱出状況

調査地	蛹化初認	50%蛹化	脱出初認	5%脱出	10%脱出	50%脱出	脱出終了日
菰野町	5/21	—	6/7	6/13	6/16	6/23	7/15
志摩市	5/21	—	6/10	6/13	6/16	6/25	7/14

脱出成虫数 菰野町 46 頭、志摩市：65 頭